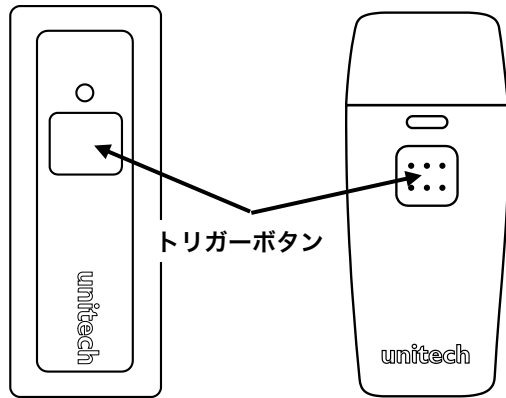


基本操作

スキャナの電源をオンにする

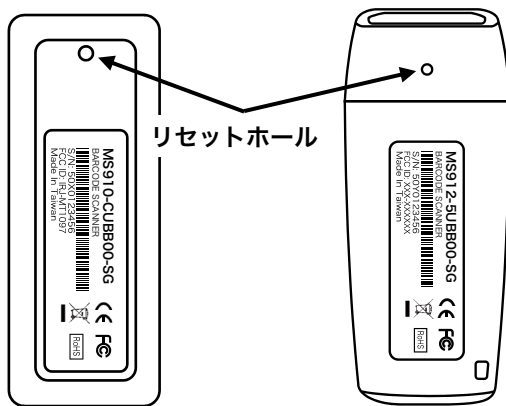
スキャナの電源がオフの状態、トリガーボタンを1秒以上長押ししてください。スキャナの電源がオンになったとき「ピーー」という音が鳴ります。



スキャナの電源をオフにする (リセット)

スキャナの電源がオンの状態で、リセットホールに先の尖っていない細い棒 (クリップを伸ばしたものなど) を差込んで、内部のリセットスイッチを押してください。スキャナがリセットされると電源がオフになります。

※ 設定や通信情報は変更されません。



ペアリング完了後の使用方法

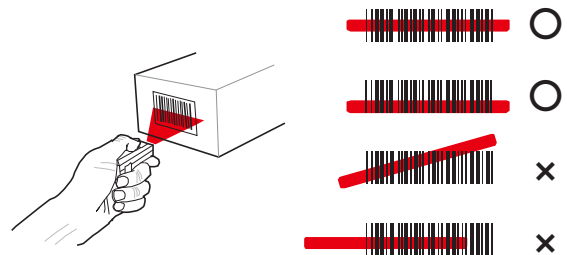
使用を開始するときは、トリガーボタンを1秒以上長押しして、スキャナの電源をオンにしてください。スキャナの電源がオンになったときに再接続が開始されますので、再接続が完了するまでお待ちください。

※ 再接続できない場合は、スキャナのリセットを行ってから、もう一度電源をオンにしてください。

バーコードを読取る

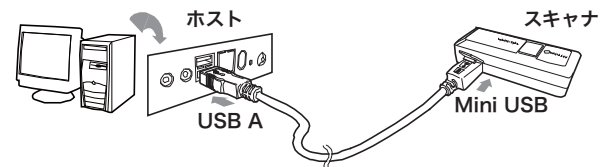
バーコード読取光 (赤いビーム) が、バーコードの全ての棒と空白を横切るようにしてください。読取りにくい場合は、トリガーボタンを押し続けたまま、バーコードとスキャナの距離を調整してください。

バーコードの読取りに最適な距離はバーコードの種類や縮小・拡大率、印刷の状態、印刷台紙の種類・色などによって様々です。また、バーコードの細いバーが細すぎるものや、バーコードの幅自体が広すぎるもの、印刷品質が悪くかすれているものなどは読取ることができません。



スキャナを充電する

スキャナを2時間以上充電してください。バッテリーの残量が十分ないと接続が正常に行なわれない場合があります。



スキャナの動作が不安定なとき

スキャナの動作が不安定なときは、スキャナをリセットしてください。

本書内の Android デバイスについて

本書内で使用される Android デバイスとは基本ソフトウェアに Android を使用したスマートフォン・タブレットなどの総称です。Android デバイスは機種毎に様々なカスタマイズが施されているため、操作方法や画面の構成が異なる場合があります。Android デバイスの操作方法やインストールされているアプリについてのご質問などは、Android デバイスの取扱説明書をご確認いただくか製造メーカーや通信キャリアへお問い合わせください。スキャナの操作に関わるお問い合わせ以外は、弊社では対応できませんので、予めご了承ください。

※注意※

- 本書は、HUAWEI P20 lite (Android 8.0) をベースに作成されています。
- 本スキャナは、全ての Android デバイスとの接続および動作を保証するものではありません。
- 機種によっては接続後、正常に入力ができない場合があります。
- 機種の制限によって、バーコードデータ送信後の改行ができない場合があります。
- 機種によって手順や画面構成が異なる場合があります。
- スマートフォン・タブレット等の操作方法やインストールされているアプリ等についてのお問い合わせは、取扱メーカーや通信キャリアへお問い合わせ下さい。
- スキャナのバージョンによって一部操作が異なる箇所があります。

赤で囲った部分にバージョン表記があります



Android デバイスと HID 接続する

- 1 スキャナのトリガーボタンを 1 秒以上長押しして電源をオンにしてください。

※ 充電中の場合は USB ケーブルを外してください。

- 2 スキャナを使用して次のバーコードを上から順番に読取ってください。



設定初期化



通信切断/ペアリング削除



HID (ワイヤレス)

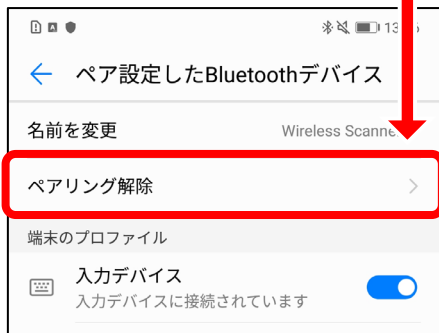
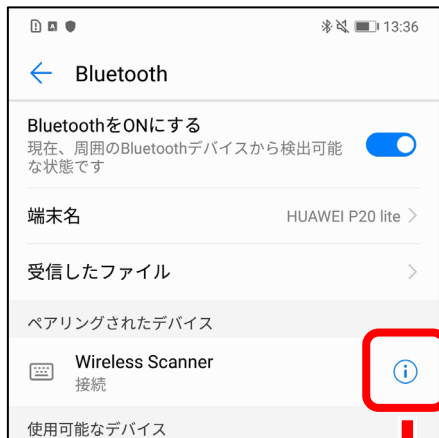
- 3 Android デバイスの Bluetooth を ON にします。

※ HUAWEI P20 lite では、[設定]→[デバイス接続]→[Bluetooth]の順にタッチします。



4 Wireless Scanner 右の「i」や「歯車」等のアイコンをタッチし、ペアリングを解除またはデバイスを削除してください。

- ※ HUAWEI P20 lite では、[i]→[ペアリング解除]の順にタッチします。
- ※ [i]や[歯車]等のアイコンが表示されていない場合や、Wireless Scanner が表示されていない場合は、この手順をスキップして次へ進んでください。



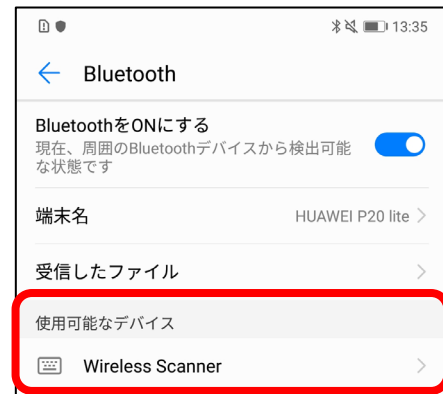
5 スキャナの緑ランプが点滅していることを確認してください。緑ランプが消灯している場合は電源がオフに鳴っている場合があります。

6 Android デバイスの Bluetooth 画面に「Wireless Scanner」が表示されることを確認してください。

- ※ スキャナの電源がオンになったばかりの場合は検索に時間がかかる場合があります。
- ※ 1分以上待っても検索されない場合は、「通信切断/ペアリング削除」バーコードを読み取ってから、スキャナをリセットして、もう一度電源をオンにしてください。
- ※ Android デバイスの Bluetooth 画面で、検索がタイムアウトした場合は、再検索を実行してください。HUAWEI P20 lite では、画面下の[検索]をタッチします。

7 スキャナが接続待機（緑ランプ点滅）の状態、「Wireless Scanner」タッチしてください。

- ※ Wireless Scanner の右に[i]や[歯車]等のアイコンがないことを確認し、アイコンが表示されている場合は「ペアリング解除」または「デバイス削除」を行ってください。

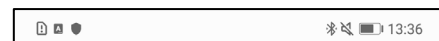


8 暫くすると、スキャナが「ピッピツ」と鳴動し、緑 LED ランプが消灯して接続が完了します。

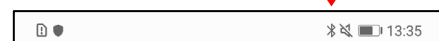
- ※ 接続が完了する前にスキャナの電源がオフになると接続が失敗しますのでご注意ください。
- ※ Bluetooth アイコンが上部の通知領域に表示される機種の場合は、アイコンの状態で接続されているかどうかを確認することができます。

HUAWEI P20 lite の場合：

接続



切断



9 次のバーコードを読み取ってスキャナの文字間遅延を設定してください。



文字間遅延「16 ミリ秒」

スキャナと画面キーボードを同時に使用する

機種によっては、スキャナを接続していると画面キーボードが表示されなくなってしまう場合があります。その場合に、以下の3つのいずれかの方法で画面キーボードを表示させることができます。機種制限によっては行うことの出来ない方法もあります。

<方法1>

Android デバイスの Bluetooth をオフにして、一時的にスキャナとの接続を解除する

<方法2>

スキャナで以下のバーコードを読み取り、一時的に接続を解除する。スキャナは1分後に自動的に再接続を行います。



通信切断

<方法3>

Android デバイスの「仮想キーボード」の表示設定を変更し、スキャナ接続中でも常に画面キーボードを表示させる。

- ※ [仮想キーボード]とは文字入力を行うために表示される画面上のキーボードのことです。(例：ATOK や gboard など)
- ※ [物理キーボード]とは、Bluetooth や USB で接続された外部キーボードのことです。HID で接続されたスキャナは物理キーボードとして動作します。
- ※ この機能の変更を制限している機種があります。
- ※ 仮想キーボードによっては、この設定を内蔵している場合があります。
- ※ HUAWEI P20 lite では、[設定]→[システム]→[言語と文字入力]→[物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]をオンにします。



バーコードを読み取ってみる

- 1 Chrome 等を実行し文字入力可能な状態にしてください。Chrome の場合は、google 検索サイトなどを表示し、中央の検索用テキストボックスをタッチしてフォーカスします。



- 2 左の「スキャナと画面キーボードを同時に使用する」を行って画面に仮想キーボードを表示してください。
- 3 入力方法を半角英数直接入力などの文字変換を伴わない設定へ変更してください。次ページにていくつかの仮想キーボードにおける設定例を記述いたしましたのでご参考ください。
- 4 目的のバーコード、または巻末のテストバーコードを読み取ってください。バーコードの最後で改行しない場合は、入力方法が変換を伴う設定になっている可能性があります。

Gboard (Google キーボード) の設定

1 Gboard の設定画面を表示させます。

※ HUAWEI P20 lite では、[設定]→[システム]→[言語と文字入力]→[Gboard]の順にタッチします。

2 [言語]に[英語(米国)]を追加します。既に追加されている場合は、この手順をスキップすることが出来ます。

※ [言語]→[キーボードを追加]→[英語]→[英語 (米国)]→[QWERTY]→[追加]または[完了]の順にタッチします。



3 Chrome などを実行して文字入力可能な状態とし、本書の「スキャナと画面キーボードを同時に使用する」を参考に仮想キーボードを表示させます。

4 仮想キーボードの [🌐]アイコンをロングタッチしてキーボードの変更から[英語 (米国)]をタッチして変更します。



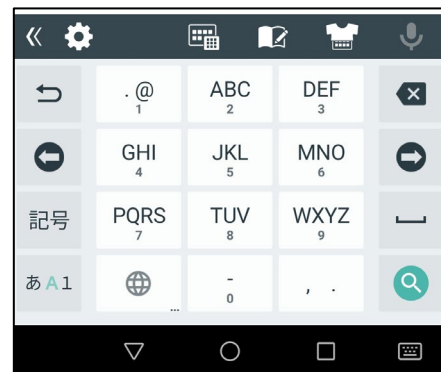
iWnn IME の設定

1 Chrome などを実行して文字入力可能な状態とし、本書の「スキャナと画面キーボードを同時に使用する」を参考に仮想キーボードを表示させます。

2 仮想キーボードの [🌐]アイコンをロングタッチしてキーボードの変更から[iWnn IME]をタッチして変更します。



3 [あA1]をタッチして、アルファベット入力または数字入力の状態に変更します。



トラブルシューティング

それまで正常に接続して使用できていたのに、突然接続しなくなり緑 LED が点滅を繰り返す。

「Android デバイスの Bluetooth をオフ→スキャナの電源オフ
→Android デバイスの Bluetooth をオン→スキャナの電源オン」の順番に実行し、再接続が行われるかご確認ください。

数度上記手順を試行しても再接続が行われない場合は、本書を参考に再ペアリングを行ってください。

バーコードを読むと「ビピピ」とエラー音が鳴る。

正常に接続できていない場合のエラー音です。接続してからバーコードを読取ってください。

スキャナが接続できていないときは、スキャナの緑ランプが点滅を繰り返します。1分以上経っても緑ランプの点滅が消えない場合は、本書を参考に再接続をしてください。

バーコードを読むと「ピッ」と読取り成功音が鳴るにもかかわらず、Android デバイスの画面に表示されない。

バーコードデータを入力するアプリが文字入力可能な状態になっているかをご確認ください。

アプリが文字入力可能な状態でもバーコードデータが表示されない場合は、「Android デバイスの Bluetooth をオフ→スキャナの電源オフ
→Android デバイスの Bluetooth をオン→スキャナの電源オン」の順番に実行し、復旧可能かご確認ください。

バーコードデータ後に自動改行しない。

バーコードデータがひらがなになったりする。

Android デバイスの入力方法（仮想キーボード）を変換の伴わない
ちよ説入力に変更してください

。

バーコードデータが本来と全く異なる文字列になる。

Android デバイスの推測変換など文字入力に関する補完機能を無効にしてください。

その他、ユーザーマニュアルの「よくある質問」をご確認ください。

設定変更用バーコード (抜粋)

全ての設定バーコードを確認するには、弊社 Web ページよりダウンロード可能なユーザーマニュアルの最新版をご利用ください。



設定初期化



バージョンチェック

【ターミネータ】

バーコードの最後に送信する機能キーです。



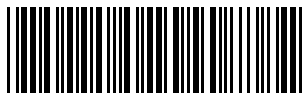
ENTER キー (標準値)



Tab キー

【強制電源 OFF】

このバーコードを読み取ると、スキャナの電源が即座に OFF となります。



電源 OFF

【読取成功ビープ】

バーコードの読取が成功したときのビープ音を変更できます。



鳴らす (標準値)



鳴らさない

【システムビープ】

エラー音や通信音を含むすべてのビープ音を変更できます。



全て鳴らす (標準値)



エラー音のみ鳴らす

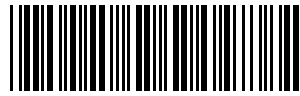


全て鳴らさない

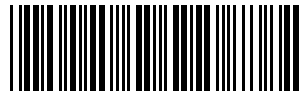
※ 通信接続・切断、エラー音、バッテリー残量警告など通常動作時のすべての音が鳴らなくなりますのでご注意ください。

【スキャンモード】

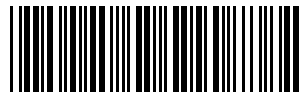
トリガーボタン押下時のバーコード読取光の照射方法を変更できます。各設定の詳細はユーザーマニュアルをご参照ください。



トリガー (標準値)



ワンプレスワンスキャン



連続

【先頭 0 の JAN コード】

0 (ゼロ) からはじまる JAN コードを読み取ったとき、0 (ゼロ) も含めて受信したい場合は「UPC を JAN に拡張する」を設定してください。



UPC を JAN に拡張しない (標準値)



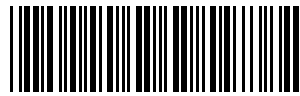
UPC を JAN に拡張する

【Codabar (NW7) のスタートストップ文字】

Codabar のスタートストップ文字「A/B/C/D」の送信を変更できます。



送信する (標準値)



送信しない

テスト用バーコード

Code 39



UNITECHE

Code 128



Unitech128

JAN13



4912345678904

Codabar (NW7)



A22357000599877A